

平成27年8月1日
浄土真宗 本願寺派
林徳寺 発行
025 - 276 - 3456

浄土真宗物語 22

現在の福井県あわら市吉崎よしざきの地に、吉崎御坊ごぼうと呼ばれる坊舎を建て、本願寺第八代の蓮如上人が布教活動をされたことによつて、親鸞聖人の残された浄土真宗の教えは一気に広まることとなりました。

全国から参拝に來られる門徒の宿泊所として、200軒を超える多屋たやが建てられたと言います。京都に本願寺が建つていた頃は、参拝者の姿もほとんど見られない、寂れた



吉崎御坊復元図

力を追いついて、その後90年間も、門徒が国を治めるような状況が、作られるようにさえなっていました。これが一向一揆と言われる、浄土真宗門徒の蜂起ほうぎの始まりでもあります。もちろん蓮如上人は、浄土真宗の教えを広められたの



吉崎御影道中

それぞれ、10日間の法要が営まれます。うことです。(続く)

お寺であつたことを思えば、夢のような出来事です。

蓮如上人が吉崎におられたのは、文明3(1471)年から文明7(1475)年までの5年間です。この間に北陸地方を中心に浄土真宗の教えは急速に広まり、様々な「講」組織が作られて、門徒の横のつながりが深まってきました。

その結果、蓮如上人が吉崎を去られてまもなく、加賀の国(今の石川県)において、浄土真宗の門徒が武士の勢力

であつて、自分の存在が争いの元になることを嫌われました。

そのため、文明7年に動乱の中で坊舎が消失したことを縁に、吉崎を去られ、京都にお帰りになりました。

現在も吉崎周辺の門徒は蓮如上人を慕い、京都の東本願寺から吉崎までの240キロの道のりを、7日間かけて歩き、蓮如上人の御影ごえい(肖像画)を運ぶ御影道中を、毎年4月末に続けています。

御影が到着後は、東西の吉崎別院で

林徳寺 長男夫婦 入寺について

平成27年5月より、長男夫婦が京都での修行生活を終えて林徳寺に入寺致しました。

夫婦ともに僧侶としての資格を得、長男はさらに、住職になることのできる資格（教師と言います）も得てきました。

また長男は「特別法務員」という資格も得ることができました。これは勤行のスペシャリストであると認められた事を表す資格で、様々なお経を読むことができるだけでなく、作法、雅楽など多くの面で模範となる僧侶であると、認められたこととなります。

林徳寺 歴代の中で、初めてこの資格を得た僧侶です。今後林徳寺のために、大いに活躍してくれるものと期待をしております。

遠く奈良県から新潟に嫁に来て、全く異なる環境で暮らすこととなる

若坊守と、林徳寺の後継者として、やる気を持って様々なことにチャレンジしようとしてくれていた長男、この若い二人の今後に、御門徒の皆様のお暖かなご配慮をいただきたく、お願い申し上げます。

「連研」参加者募集



過去の「連研」風景

今年の9月から、新潟組内の寺院で、連続研修（連研）を実施します。2年間の連続した研修に参加していただき、浄土真宗の教えについて学んでいただく事になります。今年の日程は下記の通りです。



赤倉ホテル 有縁講 懇親会

有縁講は昭和34年から続く、赤倉ホテルを会場とした、浄土真宗の門徒の集いです。

赤倉ホテルのおばあちゃん（平井ショウさん）を縁として、毎年11月の1ヶ月間、有縁の門徒 計数千人をホテルが格安の料金で招いて、この集いが開かれています。

9月2日（水）午後2時 円満寺様
 10月7日（水）午後2時 林徳寺
 11月19日（木）赤倉ホテル
 11月20日（金）「有縁講」参加
 12月4日（金）午後3時 光林寺様
 来年の日程は、今後決定されます。林徳寺からも、2名以上の参加者を集めたいと願っています。参加費等は護寺会の会計から補助がありますので、どうぞ興味のある方は、住職までお申し出ください。